

財団法人 庭野平和財団 御中

コード No.18-NPF-001

**平成 30 年度
「JANIC 財務基盤強化とネットワーク NGO の
連携強化のための 3 か年アクションプラン」
事業完了報告書**

2019 年 5 月 15 日

国際協力 NGO センター (JANIC)

作成：伊藤衆子

1. プログラムの目的

目的

・ネットワーク NGO が必要な役割を果たし、日本の各地域において、市民の国際協力活動が活発化すること。

目標

- ・JANIC の財政基盤強化のため、将来的な収益事業となる自主事業を立ち上げ、本助成が終了する 2020 年 3 月までに軌道に乗せる。
- ・地域のネットワーク NGO との連携強化を推進する。それにより、NGO の政策環境の改善など、ネットワーク NGO が必要な役割を果たすための基盤をつくる。

2. 主な活動内容・スケジュール

【主な活動内容】

(1) JANIC 国際協力フォーラム (HAPIC) 企画

グローバルな社会課題解決に取り組むアクターが集い、学び、議論し、新しいアイデアやパートナーと出会う会議を 2019 年度から毎年開催するための基盤構築の推進。

- ① 会議コンセプトを設定、会議名を「HAPIC (ハピック) – HAPPINES IDEA CONFERENCE」とし、2019 年度第 1 回開催に向けたプレフォーラムを開催
- ② 英米の成功事例研究：InterAction フォーラム (米)、Bond 会議 (英) について、国際会議の企画・運営方法の調査を実施
- ③ ワーキンググループ制度の展開を通じたニーズや課題の把握

<NGO ワーキンググループ>

NGO の問題・課題について、NGO 同士で情報共有・学習・提言を行う自主的活動。

- ① 情報共有 & 学習タイプ・・・NGO 間の情報共有、事例研究を行います。
- ② 提言 & 発信タイプ・・・他セクターに対して提言や情報発信を行います。

目的：NGO 活動の共通事項についてグループの力で問題解決・課題達成を図る。

・英国 Bond：51 グループ (事業運営、反汚職、子どもの権利、人道、企業連携、広報、人事等)

・米国 InterAction：30 グループ (SDGs、G7/G20、CEO、食の安全、WASH、障害、シリア/イラク等)

（２）インキュベーション・センターの設置【平成 30 年度助成を受けた活動】

SDGs の達成や、世界の社会的課題を解決するための「市民社会組織（CSOs）」の創業・活動を支援する事業を開始するための環境整備。

- ① JANIC 事務所の改装工事を実施、備品を整備
- ② オフィス利用ルール策定、事務所ビルオーナーとの条件調整
- ③ シェアオフィス事業開始（2018 年 6 月～）
- ④ 2019 年度より「CSO 支援プログラム」を開始するための事業計画検討

（３）地域のネットワーク NGO との連携強化

日本の NGO を取り巻く外部の脅威（市民社会スペースの縮小など）、および NGO セクター全体の組織・活動強化のため、地域ネットワーク NGO との連携強化。

- ① 市民社会スペース NGO アクションネットワーク（NANSiS）設立（2018 年 6 月）。提言、イベント実施
- ② 地域ネットワーク NGO の連携強化策策定
- ③ 地域ネットワーク NGO と JICA の共同アクションプラン（地域連携、人材育成、裾野拡大）の実施
- ④ 地域ネットワーク NGO との個別打合せ実施
 - ・NGO 福岡ネットワーク：9 月
 - ・関西 NGO 協議会：12 月
 - ・名古屋 NGO センター：11 月、1 月
 - ・北海道 NGO ネットワーク協議会/北海道国際交流センター：1 月

【スケジュール】

施策	2018 年度上期	2018 年度下期	2019 年度上期 予定	2019 年度下期 予定
（１）JANIC 国際協力フォーラム（HAPIC）	・他セクターへの協力依頼 ・米国 InterAction フォーラムの運営方法調査	・国際協力ミニ・フォーラム実施（半日） ・英国 Bond 会議の運営方法調査	・他セクターへの協力依頼	・HAPIC 開催（1 日）
（２）インキュベーションセンター・シェアオフィス	・調査・準備期間（NGO のニーズのヒアリング、家具の設置）	・シェアオフィスの開始 ・CSO 支援プログラム開発	・CSO 支援プログラム開始	・CSO 支援プログラム改善
（３）地域のネットワーク NGO との連携強化	・ネットワーク NGO の連携強化策案の合意 ・JICA とネットワーク NGO の協働アクションプランの合意 ・新 NANSiS の立ち上げと提言活動での連携強化	・ネットワーク NGO の会議開催（対面、政府との協議会等にあわせて実施） ・HAPIC での企画協力	・CSO 支援プログラムへの企画協力 ・ワーキンググループ等、他の事業での協力開始	・HAPIC での企画協力

3. 活動の成果（成果物などがありましたらご紹介ください）

（1）JANIC 国際協力フォーラム

- ・将来的な収益事業に向けた自主事業を立ち上げのため、チームを編成し、外部の協力も得て企画した。
- ・会議名称「HAPIC（ハピック）－HAPPINES IDEA CONFERENCE」およびロゴを作成（広告代理店によるプロボノ）し、プレフォーラムを開催することで、今後の会議開催を関係者に周知できた。
- ・半日のプレフォーラムでは全体会と4つの分科会を企画し、目標の参加者人数150を達成した。
- ・InterAction フォーラム（米）、Bond 会議（英）の参加、調査、ファンドレイジング大会（日本）のヒアリングを行い、プレフォーラム開催を通して、会議の準備、運営に係る工数、業務項目、予算規模を把握できた。
- ・ワーキンググループ：新規3グループを含む5つのグループの活動を支援した。

＜HAPIC プレフォーラム概要＞

- ▶ 日時：2019/1/18（金）13:00-17:15 懇親会 17:30-19:30
- ▶ 会場：聖心グローバルプラザ（東京都渋谷区広尾）
- ▶ 参加者数：165 人
- ▶ キーノートセッション
「私たちの可能性～グローバルイシュー解決に向けて～」
- ▶ ブレイクアウトセッション
 - ①災害から私たちは何を学び、活かすのか ～新たな視点と事業の可能性～
 - ②「子どもと若者のセーフガーディング」を我々のスタンダードに～子どもへのあらゆる搾取や不適切行為と戦うために～
 - ③インターネットを超える？ ブロックチェーン技術は国際協力現場で利用できるのか！？
 - ④なぜ日本にはメガ NGO が存在しないのか？ ～NGO の規模拡大・合併を考える～



＜NGO ワーキンググループ＞

- ▶ 公益法人
- ▶ NGO 組織強化
- ▶ ロビーイング
- ▶ セーフガーディング
- ▶ 開発×テクノロジー

(2) インキュベーション・センターの設置

①シェアオフィスの環境整備

- ・利用団体を受け入れるにあたり、事務所レイアウトの変更、配線整備、家具、備品を整備した。
- ・会議室を一つ増やすことで会議利用も可能な改修工事を行った。
- ・ビルオーナーとの調整及び相談を行った。

※ビルのオーナーの変更（他社との合併）のため、事務所のシェアに関する条件の確認に半年を要した。

ビル側の条件は、利用する団体へのサービスや活動時間への制限が発生し、当初想定していたシェアオフィスとしての展開が難しく、レンタルスペースという形で企画を再検討することとなった。

ビル側の条件に沿った形でのレンタルスペース利用団体の正式な募集は 2019 年度に持ち越しとなった。



(レイアウト変更)

②シェアオフィスのルール整備

- ・シェアオフィス・インキュベーション・センターを設置している「NPO サポートセンター」やコワーキングスペースの調査及びヒアリングを実施。
- ・事務所利用ルール策定、申込用紙等の整備し、募集準備を行った。

③2018 年利用団体詳細

団体名	利用期間	人数	利用目的
(特活) アイキャン	2018/5~2019/4	2 名	東京事務所開設前の仮事務所として利用
NGO 安全管理イニシアティブ	2018/4~継続中	2 名（※内 1 名 JANIC 常勤）	事務所利用及び JANIC の連携
C20	2018/11~2019/6	2 名（※内 1 名 JANIC 常勤）	事務所利用及び JANIC 加盟団体との連携

成果：

- ・利用団体 3 団体
- ・シェアオフィス（事務所）の利用のみならず、JANIC と一緒にスペースで業務を行う事で利用団体と JANIC の情報共有を頻繁に行う事ができた。
- ・JANIC のネットワークを活用した広報や人材交流などを行う事ができた。

④インキュベーション機能

- ・グローバル課題に取り組む CSO の創業・活動を支援する事業の始動に向け、担当者を配置し、NGO へのヒアリング、理事会も含めた検討を行い、「CSO 支援プログラム」として事業を立ち上げ準備を行った。

支援内容：

- ・NGO の創業支援や活動の支援を必要とする個人・団体に対し、JANIC や会員メンバー等の事業経験や NGO 運営ノウハウ等を踏まえ、JANIC 理事がメンター（指導・助言）を務め、事務局が日常的なサポートを行いつつ、NGO の創業、活動の支援を行う。

（３）地域のネットワーク NGO との連携強化

- ・市民社会スペース NGO アクションネットワーク（NANSiS）を設立し、セミナーを開催し、外務省/JICA 協議会での報告・提言を行った。

構成団体：北海道 NGO ネットワーク協議会、JANIC、横浜 NGO ネットワーク、名古屋 NGO センター、
広島 NGO ネットワーク、NGO 福岡ネットワーク、沖縄 NGO センター

- ・地域ネットワーク NGO 連携強化企画案を提案し、その中で、ネットワークを活用した下記の情報共有、広報協力を実施できた。

外務省/JICA との協議会の議題/参加者募集、市民社会スペース、NGO に関するアンケート実施、
イベント開催情報、人員募集

実施団体：沖縄 NGO センター、NGO 福岡ネットワーク、四国 NGO ネットワーク、関西 NGO 協議会、
名古屋 NGO センター、にいがた NGO ネットワーク、埼玉国際協力協議会、横浜 NGO 連絡会、
北海道 NGO ネットワーク協議会

- ・個別団体との会合、打合せは実施できたが、関係団体が集まる会議開催は実現していない。情報共有以外の連携策については、更なる具体化と連携体制の構築が必要である。

<地域ネットワーク NGO 連携強化企画案>

1	情報共有・学習	<ul style="list-style-type: none"> ・メーリングリストで情報共有を行う ・年 1～2 回会議開催（オンライン参加含む） ・数年後には各組織で会議参加費を予算化する
2	アドボカシー	<ul style="list-style-type: none"> ・提言・声明の共同発信のスムーズな体制づくり ・共同で外務省、JICA との協議実施（年 1～2 回） ・日本の市民社会組織強化を応援するドナー獲得
3	ワーキンググループ*共同運営	<ul style="list-style-type: none"> ・会員団体が地域ネットワーク横断的に参加できる展開
4	共同ウェブサイト運営	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント・研修・求人・NGO 情報を一体化させる ・まずはお互いのウェブサイトのリンク設定から
5	リソース共有	<ul style="list-style-type: none"> ・人材：社労士等専門家、総務や労務等の職員交流、イベント・研修共催によるロジ効率化等 ・その他：相互サテライトオフィス化、会議室利用等
6	HAPIC 開催	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ・分科会設定 ・参加者募集（招待枠設定、旅費補助）

- ・地域ネットワーク NGO と JICA の連携のための共同アクションプラン（2 年計画）の 1 年目を実施の進捗報告の情報共有を行い、NGO-JICA 協議会で報告した。

4. 今後の課題

(1) 「HAPIC (ハピック) – HAPPINES IDEA CONFERENCE」

- ・財源の柱とするための協賛・参加者規模を拡大に向けた魅力的プログラムづくり
- ・地域ネットワーク NGO をはじめとする各地の CSO の活動の活性化につながるプログラムづくり
- ・NGO のワーキンググループ制度の発展と、現在個別に行われている会議類（例：JANIC が運営事務局を務める「NGO 労働組合同国際協働フォーラム」「企業と NGO の連携推進ネットワーク」）の活動の統合

(2) インキュベーション・センターの設置

- ・JANIC らしい CSO 支援メニューの開発
（組織運営面、海外を含めた現場での事業実施に関するアドバイスや情報提供、メンター制度など）
- ・シェア団体の募集、団体支援の開始
- ・新たな国際協力の担い手の発掘

(3) 地域のネットワーク NGO との連携強化

- ・地域ネットワーク NGO の連携強化策の具体化と具体策の提案。
- ・継続的な関係構築と、個別会議やテーマごとに関心のあるネットワークが集まる会議の設定。
- ・共有すべき情報の特定、情報共有の形式化、相互会員化による情報共有。

以上